

古野電気株式会社 入社式 社長訓辞

2023年4月3日



代表取締役社長執行役員 古野 幸男

新入社員の皆さん 入社おめでとうございます。社長の古野です。

本日、こうして新しい仲間を迎えることができたことを大変嬉しく思います。会社を代表して、心から歓迎の意を表し、お祝い申し上げます。

さて、当社は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、漁業の科学化、近代化を推し進めてまいりました。魚群探知機にとどまらず、無線機、レーダー、GPSなど船に搭載する各種電子機器を開発し、漁船のみならずプレジャーボート、商船など新しい市場を切り拓く一方、果敢に海外市場に乗り出し、船用電子機器分野では世界トップクラスのグローバル企業としての地位を築きあげました。さらには、船用分野で培った技術を医療、情報通信分野へと水平展開し、今では【安全安心・快適、人と環境に優しい社会・航海の実現】を事業ビジョンに掲げ、幅広い分野で事業を展開しています。

当社は創業当初から社会やお客様の要求に応えるべく、世の中にない革新的な技術や製品を生み出し続けることで社会に貢献してきました。最近では、業界を挙げて取り組んできた航海の安全と操船の自動化を目的とした自律運行船の研究開発が加速し、2025年の実用化に向けて、あと一歩のところまでできています。このような状況の中、当社では2030年までに目指す姿として経営ビジョン「FURUNO GLOBAL VISION “NAVI NEXT2030”」(ナビ ネクスト ニイマルサンマル)を策定し、その指針に基づき事業を展開するとともに、風土改革を進めています。

ビジョンは3つのフェーズに分かれており、今年2023年は第2フェーズの初年度に当たります。このフェーズでは将来の成長に向けた挑戦への投資を推し進めることで、さらなる高みを目指し、皆さんと共に成長していきたいと思っております。ここで、仕事に対する心構えとして、皆さんに身に付けていただきたいことを三点お話しします。

まず一点目は、「興味を持ったことは実践してみる」ということです。

仕事に関することは勿論ですが、それ以外でも身の回りの様々なことにアンテナを張ることにより、多くの情報を得ることができます。その中で、興味があることは機会を作って自ら実践してみてください。昨今のインターネット環境の整備や、情報端末の進化により、皆さんの世代は情報収集能力には長けていると思います。一方で、経験・体験という面では不足しているということは否めません。実践することによって、物事をより深く知ることができ、皆さんの成長につながります。

二点目は、「社内外の関係者と積極的にコミュニケーションをとる」ということです。

多様性の時代と言われていています。当社においても、幅広い年代で国籍や性別にかかわらず、様々な価値観を持った人たちが働いています。その関係者との日常のコミュニケーションをとることにより良好な人間関係が構築され、さらには信頼感の醸成へとつながります。

相手の考え方を理解し、事実が正確に伝わっているかを確認するなど、当事者意識を持って積極的に対話することが重要です。日頃から会話が一方通行にならないよう意識し、特に言いづらいことほどメールなどに頼らず対面でコミュニケーションをとるよう心掛けてください。

最後三点目は「変化に対して果敢に挑戦(チャレンジ)する」ということです。

世の中全体がグローバル化、デジタル化していく中で、私たちを取り巻く環境は、目まぐるしく変化していきます。当社グループが持続的に発展していくためには、この変化に対し積極果敢にチャレンジしていくことが大切です。

ぜひ色々なことにチャレンジしてください。その経験が皆さんの人格や価値観を形成し、将来、大きな財産となります。そのためにも、まずは仕事の基本をしっかりと身につけるとともに、自らの専門性を磨き、それぞれの分野で変革を起こせるプロフェッショナルを目指してください。従来の枠組みにとらわれることなく、時代の変化を先取りする柔軟な発想と、スピード感のある行動を期待しています。

古野電気は皆さんの可能性を引き出す場を提供します。一日も早く会社の戦力となれるよう、何事にも情熱と責任感を持って取り組み、私たちともに新しい時代を創り上げていきましょう。皆さんの成長と、大いなる活躍を祈念して、私の歓迎の挨拶といたします。

以上